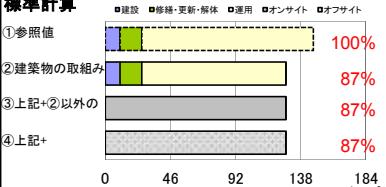
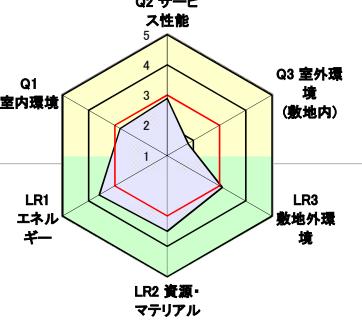


CASBEE あいち

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き ■ 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)_AICHI

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	医療法人北陽会(仮称)北陽会病院	階数	地上4F
建設地	愛知県春日井市八幡町118番、124号	構造	S造
用途地域	第1種中高層居住専用地域、準防火地域	平均居住人員	190人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年1月 予定	評価の実施日	2017年11月27日
敷地面積	1,962 m ²	作成者	水谷 昭彦
建築面積	1,191 m ²	確認日	水谷 昭彦
延床面積	3,982 m ²	確認者	水谷 昭彦

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)		2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)		2-3 大項目の評価(レーダーチャート)	
BEE = 1.0					
2-4 中項目の評価(バーチャート)		Q のスコア = 2.5			
Q 環境品質		Q3 室外環境(敷地内)			
Q1 室内環境		Q2 サービス性能		Q3 のスコア = 1.8	
Q1のスコア = 2.8		Q2のスコア = 2.9		Q3 室外環境(敷地内)	
音環境	2.1	機能性	2.6	生物環境	1.0
温熱環境	2.0	耐用性	3.2	まちなみ	2.0
光・視環境	3.3	対応性	3.2	地域性	2.5
空気質環境	3.8				
LR 環境負荷低減性		LR のスコア = 3.4			
LR1 エネルギー		LR2 資源・マテリアル		LR3 敷地外環境	
LR1のスコア = 3.6		LR2のスコア = 3.5		LR3のスコア = 3.1	
建物外皮の	5.0	水資源	3.4	地球温暖化	3.5
自然エネ	4.0	非再生材料の	3.6	地域環境	3.0
設備シス	2.8	汚染物質	3.6	周辺環境	3.0
効率的	2.5				
3 重点項目					
①地球温暖化への配慮		③敷地内の緑化			
					
					
②資源の有効活用		④地域材の活用			
					
					

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮
LR-3-1 地球温暖化への配慮
②資源の有効活用
Q-2-2 耐用性・信頼性、Q-2-3 対応性・更新性
LR-2-2 非再生性資源の使用量削減
③敷地内の緑化
G-3-1 生物環境の保全と創出

外構緑化指標 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・木・被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)}} \times 100$

建物緑化指標 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建築によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

おうちの環境活動を応援しているよ。
モチーフ: まつり

スコアシート 実施設計段階		独自基準 重点項目	環境配慮設計の概要記入欄		建物全体・共用部・住居・宿泊部分		全体
配慮項目	評価点		評価点	重み係数	評価点	評価点	
Q 建築物の環境品質							
Q1 室内環境							
1 音環境							
1.1 室内騒音レベル							
1.2 遮音							
1 開口部遮音性能	2.1	0.15	2.0	1.00	2.5		
2 界壁遮音性能	3.0	0.40	3.0	0.40	2.8		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	1.0	0.60	1.0	0.30			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)	-	-	1.0	0.20			
1.3 吸音	1.0	0.20	1.0	0.20			
2 溫熱環境							
2.1 室温制御	2.0	0.35	2.0	1.00	2.0		
1 室温	3.0	0.50	3.0	0.50			
2 外皮性能	3.0	0.38	3.0	0.57			
3 ゾーン別制御性	3.0	0.25	3.0	0.43			
2.2 湿度制御	1.0	0.38	1.0	-			
2.3 空調方式	1.0	0.20	1.0	0.20			
3 光・視環境							
3.1 曜光利用	3.2	0.25	3.8	1.00	3.3		
1 曜光率	3.8	0.30	4.2	0.30			
2 方位別開口	3.0	0.60	5.0	0.60			
3 曜光利用設備	5.0	0.40	3.0	-			
3.2 グレア対策	3.0	0.30	3.0	0.30			
1 曜光制御	3.0	1.00	3.0	1.00			
3.3 照度	3.0	0.15	3.0	0.15			
3.4 明暗制御	3.0	0.25	5.0	0.25			
4 空気質環境							
4.1 空気源対策	3.9	0.25	3.6	1.00	3.8		
1 化学汚染物質	4.0	0.50	4.0	0.63			
4.2 換気	4.0	1.00	4.0	1.00			
1 換気量	3.0	0.30	3.0	0.38			
2 自然換気性能	3.0	0.50	3.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮	3.0	-	3.0	0.33			
4.3 運用管理	5.0	0.20	-	-			
1 CO ₂ の監視	-	-	-	-			
2 噴煙の制御	5.0	1.00	-	-			
【Q2 サービス性能】							
1 機能性							
1.1 機能性・使いやすさ	2.5	0.40	2.8	1.00	2.6		
1 広さ・収納性	3.0	0.40	3.0	0.60			
2 高度情報通信設備対応	-	-	3.0	1.00			
3 ハリアフリー計画	3.0	1.00	-	-			
1.2 心理性・快適性	1.0	0.30	2.5	0.40			
1 広さ感・景観 (天井高)	-	-	4.0	0.50			
2 リフレッシュスペース	-	-	1.0	0.50			
3 内装計画	1.0	1.00	1.0	0.50			
1.3 維持管理	3.5	0.30	-	-			
1 維持管理に配慮した設計	4.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保	3.0	0.50	-	-			
2 耐用性・信頼性							
2.1 耐震・免震・制震・制振	3.2	0.31	-	-	3.2		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)	3.0	0.48	-	-			
2 免震・制震・制振性能	3.0	0.80	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数	3.7	0.33	-	-			
1 鋼体材料の耐用年数	3.0	0.23	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	5.0	0.23	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	3.0	0.09	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	3.0	0.08	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	5.0	0.15	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔	3.0	0.23	-	-			
2.4 信頼性	2.8	0.19	-	-			
1 空調・換気設備	3.0	0.20	-	-			
2 給排水・衛生設備	3.0	0.20	-	-			
3 電気設備	3.0	0.20	-	-			
4 機械・配管支持方法	3.0	0.20	-	-			
5 通信・情報設備	2.0	0.20	-	-			

3 対応性・更新性					3.3	0.29	3.2	3.2	1.00	3.2
3.1 空間のゆとり					4.0	0.31	3.4	3.4	0.50	
1 階高のゆとり					4.0	0.60	3.0	3.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ					4.0	0.40	4.0	4.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり					3.0	0.31	3.0	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性					3.0	0.38	-	-	-	
1 空調配管の更新性					3.0	0.17	-	-	-	
2 給排水管の更新性					3.0	0.17	-	-	-	
3 電気配線の更新性					3.0	0.11	-	-	-	
4 通信配線の更新性					3.0	0.11	-	-	-	
5 設備機器の更新性					3.0	0.22	-	-	-	
6 バックアップスペースの確保					3.0	0.22	-	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)					-	0.30	-	-	-	1.8
1 生物環境の保全と創出	②	独自③			1.0	0.30	-	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮		独自④			2.0	0.40	-	-	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮					2.5	0.30	-	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		独自④			3.0	0.50	-	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上					2.0	0.50	-	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性					-	-	-	-	-	3.4
LR1 エネルギー					-	0.40	-	-	-	3.6
1 建築外皮の熱負荷抑制					5.0	0.30	-	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用					4.0	0.20	-	-	-	4.0
3 設備システムの高効率化					2.8	0.30	-	-	-	2.8
4 効率的運用					2.5	0.20	-	-	-	2.5
集合住宅以外の評価					2.5	1.00	-	-	-	
4.1 モニタリング					3.0	0.50	-	-	-	
4.2 運用管理体制					2.0	0.50	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル					-	0.30	-	-	-	3.5
1 水資源保護					3.4	0.15	-	-	-	3.4
1.1 節水					4.0	0.40	-	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用					3.0	0.60	-	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無					3.0	0.67	-	-	-	
2 雜排水等利用システム導入の有無					3.0	0.33	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減					3.6	0.63	-	-	-	3.6
2.1 材料使用量の削減					2.0	0.07	-	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用					3.0	0.24	-	-	-	
2.3 製材材料におけるリサイクル材の使用	②	独自			3.0	0.20	-	-	-	
2.4 船体材料におけるリサイクル材の使用					4.0	0.20	-	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材					3.0	0.05	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み					5.0	0.24	-	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避					3.6	0.22	-	-	-	3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用					3.0	0.32	-	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避					4.0	0.68	-	-	-	
1 消火剤					-	-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)					5.0	0.50	-	-	-	
3 冷媒					3.0	0.50	-	-	-	
LR3 敷地外環境					-	0.30	-	-	-	3.1
1 地球温暖化への配慮	①	ライフサイクルCO2排出率:82%			3.5	0.33	-	-	-	3.5
2 地域環境への配慮					3.0	0.33	-	-	-	3.0
2.1 大気汚染防止					3.0	0.25	-	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善					3.0	0.50	-	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制					3.0	0.25	-	-	-	
1 雨水排水負荷低減					3.0	0.25	-	-	-	
2 污水処理負荷抑制					3.0	0.25	-	-	-	
3 交通負荷抑制					3.0	0.25	-	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制					3.0	0.25	-	-	-	
3 周辺環境への配慮					3.0	0.33	-	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止					3.0	0.40	-	-	-	
1 騒音		独自			3.0	1.00	-	-	-	
2 振動		独自			-	-	-	-	-	
3 悪臭					-	-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制					3.0	0.40	-	-	-	
1 風害の抑制					3.0	0.70	-	-	-	
2 砂塵の抑制					-	-	-	-	-	
3 日照阻害の抑制					3.0	0.30	-	-	-	
3.3 光害の抑制					3.0	0.20	-	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策					3.0	0.70	-	-	-	
2 逆光の建物外壁による反射光(グレア)への対策					3.0	0.30	-	-	-	

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				3.5
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.5	0.10	
② 資源の有効活用				3.4
Q2-2	耐震性・信頼性	3.2	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	3.3	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	3.6	0.19	
③ 敷地内の緑化				1.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.09	外構緑化:0%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用		(評価ポイント)		1.0
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化
重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 $\frac{\text{（評価点} \times \text{全体に対する重み})}{\text{重みの総和}}$
重点項目スコア=

④地域材の活用
重点項目スコア=評価ポイントの合計 + 1

■ 環境設計の配慮事項

■建物名称 医療法人北陽会（仮称）北

計画上の配慮事項	
総合	遮音性の高い外装材の採用、断熱効果の良い複層ガラス、エコガラスを採用した。
Q1 室内環境	居室の窓を大きくし採光の確保に努め、サッシのガラスを複層にして断熱、遮音性に配慮した。 使用建材はF☆☆☆☆☆製品とし、化学物質汚染被害を防止する。
Q2 サービス性能	将来の更新を想定し、全室ビニールクロスを採用。
Q3 室外環境(敷地内)	トップライトの採用により開放的な空間とした。 排熱を伴う設備を高所に配置した。
LR1 エネルギー	エネルギー効率の良い機器の採用に配慮した。
LR2 資源・マテリアル	限りある資源を有効に利用するため、リサイクル可能な材料の採用に配慮した。
LR3 敷地外環境	敷地外の日影の影響を考慮して建物の高さに配慮した。
その他	